

入札結果の公表

町が発注する建設工事、業務委託、物品購入等の入札結果のうち、主なもの（落札金額が工事500万円以上・業務委託300万円以上・物品購入等200万円以上）について公表します。

なお、そのほかの結果も含め、全入札結果は、町ホームページ、役場受付行政情報コーナー、財政課で公表しています。

財政課契約管財班 ☎(70)0312

金額は税抜表示 落札率(落札金額÷予定価格)

6月13日一般競争入札実施分

件名 大網白里町汚水処理施設等維持管理業務
 場所 大網白里町内
 落札業者 (株)西原テクノサービス
 落札金額 269,964,000円
 落札率 89.92%
 備考 契約期間 平成20年8月1日～平成23年7月31日まで
 件名 保健文化センター清掃業務
 場所 大網白里町大網100番地の2
 落札業者 (株)京葉ビル整備
 落札金額 5,940,000円
 落札率 88.79%
 備考 3年間(H20.7.1～H23.6.30)の長期継続契約

6月27日指名競争入札実施分

件名 町立小・中学校一般管理備品購入
 場所 大網白里町富田32番地の2 大網東小学校外6校
 落札業者 (株)三英社
 落札金額 2,828,000円
 落札率 99.79%
 件名 大網白里町障害者計画等策定業務
 場所 大網白里町大網115番地の2
 落札業者 (株)ワイズマンコンサルティング
 落札金額 3,300,000円
 落札率 81.34%
 件名 次世代育成支援対策地域行動計画調査策定業務
 場所 大網白里町大網115番地の2
 落札業者 (株)ワイズマンコンサルティング
 落札金額 3,200,000円
 落札率 66.75%



クリストファー・キーホーさん ありがとう

本町のALT(外国語指導助手)として、いつも笑顔で児童・生徒のために生きた英語の授業をしていただいたクリストファー・キーホーさん

大網白里町の皆さんへ

この2年間、大網白里町の子どもたちに英語を教えました。この経験は、本当に素晴らしかった。いつも私の心の中で宝物となっています。

大網白里町の住民は、いつも私に対して、親切で優しくかったです。本当に2年間、ありがとうございました。

Christopher Kehoe

が、7月をもって退任された。最後に本町の皆さんにお別れのメッセージをいただきましたので紹介します。

予防接種のお知らせ

麻しん・風しん予防接種

麻しんは、感染すると脳炎や肺炎など重い合併症になることがあります。予防接種の該当者にはすでに通知をしましたが、まだ接種を受けていない方はこの夏休みにぜひ受けてください。

けましよう。なお、麻しん・風しんににかかった方も受けられますが、麻しん、風しんの単独ワクチンを希望の場合は、問い合わせください。また、接種を受けたら、学校へも接種したことを報告してください。

放課後子ども教室指導員(学習アドバイザー)を募集

小学校の余裕教室などを活用して行われている「放課後子ども教室」。この教室では、子どもが学ぶ意欲に答え、学習や文化・交流活動に取り組む、地域教育力を高めることを目的としています。

この放課後子ども教室で子どもたちの指導をしてくれる指導員(学習アドバイザー)を募集します。募集人数 2人

内容 放課後子ども教室の

参加児童の学習・文化交流活動の指導

条件 教員免許または保育士資格取得者
会場 増穂・増穂北・大網東・白里小学校
活動時間 13時30分～17時30分の4時間程度
季節により変動あり
提出書類 履歴書、教員免許状または保育士資格証の写し
選考方法 書類選考、面接

対象 中学1年生(第3期)、高校3年生(18歳相当・第4期)
接種場所 日時
①保健センター(要予約)
8月18日(月)、22日(金)、27日(水)
9月1日(月) いずれも14時～14時20分
②町内協力医療機関
いしだ医院、板倉内科医院、うじはらクリニック、駒込クリニック、佐久間医院、はにや内科、みずほクリニック、みどりが丘クリニック、橋本医院

日本脳炎予防接種

平成17年に厚生労働省より「日本脳炎予防接種の積極的勧奨の差し控え」勧告があり、現在も解除されていません。積極的に勧奨はしません。が、次に該当し、強く希望する方は接種ができます。

対象
1 期初回1・2回 接種日現在7歳6カ月未満で未接種の方
追加接種(初回2回目終了後おおむね1年後) 接種日現在7歳6カ月未満で1期2回目終了している方
2期 9歳～12歳で2期を未接種の方

二種混合(破傷風・ジフテリア)

対象 町外の小学校に通う6年生、町内の小学校に通う予防接種が未接種(不適)の6年生

申・問 健康介護課健康指導班 ☎(72)83221 FAX(72)83222

育つ育てる

子どもの「できない」を受け入れる

初対面の私に「私、給食を食べるのがクラスで一番遅いの」と、楽しそうに言った子どもがいました。その子は給食の時間の様子や周りの子の反応などを事細かに話し、兄弟もそれに茶々を入れながら会話が弾みました。とてもおっとりした子どもでしたが、お母さんもおおらかな方という印象を受けました。私はその様子を見ながら、このように明るい開放的な家庭で育つこの子は将来あまり心配しないで大丈夫だと思えました。

「やるが遅いこと」は一般的には「困ること」と受け取られることが多いと思いますが、この子の家庭ではそれを受け入れ、おおらかに見守っているのでしょう。そのためこの子は屈託なく育ち、周囲の人に對しても優しい子どもに育っているのです。

子育てをしていると誰でも子どもの欠点について目が行ってしまふものです。何かできないことがあると心配になってしまいます。でも「何ができない」「子どもを責めないでください」「努力が足りない」とか「何でこんなこともできないの」と責められた子どもは委縮してしまいます。そして自分ではできない駄目な子なんだというレッテルを自分で貼ってしまいます。これではその子のいいところもなかなか伸びなくなります。

責める代わりに子どもができるようになるよう、ちよっとした工夫をしてみましょう。簡単にできることから徐々にステップを踏んでいくようにすると、つまづいているところを見つけてアドバイスするとよいでしょう。そんな時間がないとか、そんな気になれないという方は「困ったね、大変だね」とねぎらうだけでもいいのです。

子どもは「自分の大変さが分かってもらえた」と救われた気持ちになるでしょう。そして自分が受け入れられていくことでとても安心するものです。多少できないところがあっても自信を失うことなく、自尊心を傷つけられることもなくのびのびと育つでしょう。できないことを受け入れてもらえる家庭に育った子どもは情緒が安定し、多少の壁にぶつかってもはねのける精神的な強さを持つようになると思います。

大網白里教室指導員 ☎(73)0072

